

多気町教育委員会

多気町松阪市学校組合教育委員会

<所在地>

〒519-2181 多気郡多気町相可 1587 番地 1

TEL 0598-38-1121

I 事業のねらい

学校・家庭・地域が連携し、子どもたちを取り巻く課題の解決や、子どもたちの豊かな成長の支援ができるような「地域とともにある学校づくり」を目指す。多気町では、町内すべての小中学校で校区コミュニティ・スクール（以下「CS」と表記）を導入しており、地域とともにある学校づくりを行うことを目標としている。

II 具体的な取組例

1 推進委員会の設置やコーディネーター等の研修

（1）地域コーディネーターの配置

令和6年度は、全ての小中学校に計7人の地域コーディネーターを配置しており、主に活動の企画やその調整等の役割を担っている。また、学校運営協議会の事務局としての役割も担っている。

（2）運営協議会の設置

町内すべての小中学校で運営協議会を設置している。中でも、勢和小学校と勢和中学校では小中連携し、中学校区でひとつの運営協議会を設置している。

2 「地域学校協働活動」の実施・運営について

（1）勢和中学校区での取組

学校防災アドバイザーでもある地域の方の指導のもと、防災ウォークを実施した。1回目は中学生3年生が色太地区で実施した。2回目は、生徒のふりかえりから勢和中学校3年生と勢和小学校4年生、地域在住ボランティアと一緒に、片野地区の通学路を歩きながら防災につ

いて学んだ。



勢和中学校では、農用地の保全や地域コミュニティの維持などに取り組む「勢和農村 RMO 協議会」と合同で文化祭を開催した。文化祭では、ふるさと学習（地域学習）の成果発表を行った。また、昼休みには、生徒自身が作った弁当を食べる「弁当の日」を実施し、自己肯定感を高める取り組みとなった。



（2）相可小学校での取組

学校運営協議会委員が企画・運営する「子どもたちが主体的に取り組める活動」として自然体験やキャンプ、避難所体験活動を2回にわたって実施した。多気町や相可高校と連携を行い、給水車の派遣や子どもたちが防災テントを設営し、そのテントで宿泊する等の防災体験、子どもたちが考えたメニューを作るため相可高校生と材料の買い出しや食事作り等を行い、普段の学校ではできない活動を実施した。



（3）佐奈小学校での取組

5, 6年生を対象に、太平洋戦争時に特攻隊員を志願し、入隊のための身体検査直後に敗戦となったという数少ない戦争体験をされた地域の方の体験談を聞く平和学習を実施した。

「この戦争は負けだ」と口にしたことで大勢

の教員からひどい仕打ちを受けたことなど、戦時下の学校での生々しい体験や戦争の恐ろしさ、平和への思いを聞く貴重な時間となった。

（４）津田小学校での取組

学校運営協議会委員、地域の方や保護者の方と協働し、薪割体験、地域の具材を使ったカレー作り、自然体験学習などを実施した。



また、多気町職員、学校運営協議会委員の協力のもと地域の防災学習を実施した。防災マップ作りや地域内の川の様子について普段の様子と増水時の様子の写真を比べながら、豪雨時の河川や水路の怖さを実感し、災害に対する防災・減災を学んだ。



（５）外城田小学校での取組

郷土への誇りや愛情を育んでいくことを目的に地域学習の一環として「農業を営む農家等による稲作及び果樹作り体験学習」を校区内の柿農家の協力のもとに、地域の産物である柿の栽培について、年間を通して実施している。

季節ごとに柿農家の作業を実践したり、自分たちで手入れした柿を味わったりすることによって、地域の主要な農産物である次郎柿について学習している。また、地域で作られているぶどうなどの農産物や工場見学などを通して、地域の人々と出会うことで、自己肯定感や自己有用感を得られる活動を実施している。



（６）多気中学校での取組

家庭科において、子どもたちの安全面を中心に地域の方３名に調理実習へのサポートをしてもらった。担当教諭も全体に目を配ることができ、一人ひとりの様子をしっかりとみることができた。生徒たちも安全に楽しんで調理実習に取り組むことができた。



Ⅲ 取組の検証

１ 学校教育活動への支援について

（１）成果

学校だけではできない教育や体験活動を実施し、郷土愛や自己肯定感を高めることにつながった。また、授業支援等においては先生の業務軽減だけでなく、児童生徒全体を見ることができたことも大きな成果であった。

（２）課題

地域講師やボランティアの方の高齢化による新しい人材の確保、働き方改革が進められるなかで職員の地域行事への関わり方も課題である。

２ 学校・地域の連携について

（１）成果

昨年度にCSを導入した学校においては、２年目の活動となり昨年度よりも充実した活動となり、醸成させることができた。

（２）課題

地域の講師やボランティア団体等との連携を進め、支援体制をより一層充実させる必要がある。

多気地域の小学校（４校）においては、統合を控えていることから、統合を見据えた活動が必要となってくる。

Ⅳ 次年度の方針

今年度、成果のあった取組を各運営協議会で共有し、運営協議会間の連携を強化する。